

一部低迷しているものの、持ち直している

(前回:一部低迷しているものの、持ち直しの動きがみられる)

生産は持ち直している。輸出は6か月連続で減少。個人消費は緩やかに持ち直している。雇用は求人が求職を上回っているものの、求人が大幅に減少するとともに求職が増加している。

■ 8月生産:持ち直している
(7月:持ち直しの動きがみられる)

- 鉱工業生産指数 90.2
前月比 +2.9% (3か月連続)
前年同月比 ▲15.4% (11か月連続)
- 全13業種中、上昇は10業種
輸送機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業、窯業・土石製品工業、鉄鋼・非鉄金属工業等
- 低下は3業種
汎用・生産用・業務用機械工業、電子部品・デバイス工業等

(出所:九州経済産業局)

■ 8月輸出:減少(6か月連続)
(7月:減少)

- 輸出額 4,601億円
前年同月比 ▲14.9% (6か月連続)
- 主要品目
自動車 994億円 ▲19.0% (6か月連続)
電子部品 718億円 ▲25.6% (6か月連続)
鉄鋼のフラットロール製品 312億円 ▲9.6% (4か月連続)
- 国別
中国 1,441億円 +25.8% (4か月連続)
米国 465億円 ▲26.3% (13か月連続)
韓国 673億円 +12.0% (6か月ぶり)

(出所:門司税関)

■ 8月個人消費:緩やかに持ち直している
(7月:緩やかに持ち直しも一部に弱い動き)

- 百貨店・スーパー販売額(全店)
1,294億円 前年同月比 ▲3.8% (11か月連続)
- コンビニ 1,016億円 ▲4.3% (6か月連続)
- 家電大型専門店 356億円 +14.1% (4か月連続)
- ドラッグストア 644億円 +11.4% (10か月連続)
- ホームセンター 338億円
- 新車登録台数 30,189台 ▲12.4% (11か月連続)

(出所:九州経済産業局ほか)

■ 8月雇用:求人が求職を上回っているものの、求人が大幅に減少するとともに求職が増加している

- (7月:求人が求職を上回っているものの、求人が大幅に減少するとともに求職が増加に転じている)
- 有効求人倍率 1.05倍
前月比 ▲0.02 (8か月連続)
 - 新規求人倍率 1.82倍
前月比 +0.10 (2か月連続)
 - 新規求人数
医療・福祉、卸売・小売業、建設業、製造業、宿泊・飲食サービス業の順に多い。

(出所:管内各労働局)

■ 業況:改善(4四半期ぶり)

- 9月の業況DI (%ポイント)
全産業 ▲22 変化幅 +5
製造業 ▲29 変化幅 +2
非製造業 ▲19 変化幅 +5
- 先行き(12月)
全産業 ▲23 変化幅 ▲1
製造業 ▲25 変化幅 +4
非製造業 ▲22 変化幅 ▲3

(出所:日本銀行福岡支店 短観9月)

■ 設備投資:減少(13四半期ぶり)

- 19年度(実績)
全産業 +10.0%
製造業 +21.3%
非製造業 ▲4.8%
- 20年度(計画)
全産業 ▲6.0%
製造業 +0.8%
非製造業 ▲17.3%

(出所:日本銀行福岡支店 短観9月)

■ 8月住宅建設:減少(13か月連続)

- 新設着工戸数 6,126戸
前年同月比 ▲14.7%
(13か月連続)
- 持家 2,424戸
▲6.7% (13か月連続)
- 貸家 2,754戸
▲10.4% (2か月連続)
- 分譲 924戸
▲36.5% (3か月連続)

(出所:国土交通省)

■ 8月公共投資:減少(9か月ぶり)

- 工事請負金額 1,348億円
前年同月比 ▲3.8% (9か月ぶり)
- 発注者別前年同月比
国 +13.0%
独立行政法人等 ▲27.2%
県 ▲1.6%
市町村 ▲3.7%

(出所:西日本建設業保証株)

■ 8月倒産:減少(2か月連続)

- 倒産件数 45件
前年同月比 ▲8.2%
- 負債総額 54.1億円
+57.9% (3か月ぶり)
- 業種別件数(前年同月比)
製造業 1件 (▲50.0%)
卸・小売業 13件 (▲35.0%)
建設業 9件 (▲10.0%)

(出所:㈱東京商工リサーチ福岡支社)

注)生産及び雇用は前月比、業況は前期比、輸出、個人消費、設備投資、住宅建設、公共投資、倒産は前年同月(期)比で比較。

九経マンスリー（2020年8月）

2020年10月12日
九州経済産業局

今月の管内経済動向：九州地域の経済は、一部低迷しているものの、持ち直している

生産は持ち直している。輸出は6か月連続で減少。個人消費は緩やかに持ち直している。雇用は求人が求職を上回っているものの、求人が大幅に減少するとともに求職が増加している。

概 況	九州の主要経済指標(2020年8月)			
1. 生産動向 8月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、90.2で前月比が+2.9%と3か月連続の上昇となった。	■生産動向【九州経済産業局】	前月比	前年同月比	
	生産指数	902	2.9	▲15.4
	(参考)出荷指数	90.0	6.4	▲14.5
	在庫指数	102.8	▲3.2	▲2.4
2. 設備投資動向 2020年度の設備投資(計画)は、製造業は前年度比+0.8%、非製造業は同▲17.3%、全産業は同▲6.0%と前年度を下回る見込み。	■設備投資動向【日本銀行福岡支店】(2019年度実績、2020年度計画)	2019年度	2020年度	
	全産業	10.0	▲6.0	
	製造業	21.3	0.8	
	非製造業	▲4.8	▲17.3	
3. 貿易動向 8月の輸出額は、前年同月比▲14.9%と6か月連続の減少。輸入額は▲25.7%と17か月連続の減少となった。	■貿易動向【財務省】			
	輸出通関額	4,601億円		▲14.9
	輸入通関額	3,290億円		▲25.7
4. 消費動向	■百貨店・スーパー販売額【九州経済産業局】			
●百貨店・スーパー販売額 8月の百貨店・スーパー販売額は1,294億円で前年同月比▲3.8%と11か月連続の減少となった。百貨店は284億円で同▲20.4%と11か月連続の減少、スーパーは1,009億円で同+1.6%と4か月連続の増加となった。	合計	129,372百万円		▲3.8
	百貨店	28,437百万円		▲20.4
	スーパー	100,935百万円		1.6
●コンビニエンスストア販売額 8月のコンビニエンスストア販売額は、1,016億円で、前年同月比▲4.3%の減少となった。店舗数は5,600店となった。	■コンビニエンスストア販売額【九州経済産業局】			
	販売額	101,555百万円		▲4.3
	店舗数	5,600店		▲0.4
●家電販売額 8月の家電販売額は356億円で、前年同月比+14.1%の増加となった。	■家電販売額【九州経済産業局】			
	販売額	35,591百万円		14.1
●乗用車新車登録・届出台数 8月の乗用車新車登録・届出台数は、普通乗用車、小型乗用車、軽自動車が前年を下回り、乗用車全体で前年同月比▲12.4%と11か月連続の減少となった。	■乗用車新車登録・届出台数【福岡県自動車販売店協会等】			
	乗用車計	30,189台		▲12.4
	普通車	8,680台		▲17.1
	小型車	8,225台		▲13.6
	軽自動車	13,284台		▲8.3
●家計調査 ※2018年1月分より一か月遅れの更新となります。 7月の消費支出(二人以上の世帯)は256,497円で、前年同月比▲7.8%と4か月連続の減少となった。実収入(勤労者世帯)は、同+0.8%と14か月連続の増加となった。	■家計調査【総務省】(2020年7月)			
	消費支出	256,497円		(実質) ▲7.8
	(二人以上の世帯)			
	実収入	569,947円		(実質) 0.8
	(勤労者世帯)			
	平均消費性向(季調値、全国)	56.6%		▲14.2
●賃金(現金給与総額) 6月の賃金(5人以上の事業所)は、全産業では前年同月比+0.2%と3か月ぶりの増加、製造業は同▲2.3%と3か月連続の減少となった。	■賃金【各県】(2020年6月)			
	全産業			0.2
	製造業			▲2.3
5. 住宅建設動向 8月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲が減少し、全体で前年同月比▲14.7%と13か月連続の減少となった。	■住宅建設動向【国土交通省】			
	住宅着工計	6,126戸		▲14.7
	持家	2,424戸		▲6.7
	貸家	2,754戸		▲10.4
	分譲住宅	924戸		▲36.5
6. 物価動向 8月の消費者物価指数(九州)は、102.9で前年同月比+0.4%と18か月連続の上昇(前月比0.3%)となった。国内企業物価指数は、100.4で前年同月比▲0.5%と6か月連続の低下(前月比+0.2%)となった。	■物価動向【日本銀行・総務省】			
	消費者物価指数(九州)	102.9	0.3	0.4
	企業物価指数(全国)	100.4	0.2	▲0.5
7. 雇用動向 8月の有効求人倍率は前月比▲0.02ポイントの1.05倍、新規求人倍率は同+0.10ポイントの1.82倍となった。	■雇用動向【九州各労働局】			
	有効求人倍率(季調値)	1.05倍	▲0.02	▲0.42
	新規求人倍率(季調値)	1.82倍	0.10	▲0.32
8. 公共投資動向 8月の公共工事請負金額は、前年と比較し、国が増加したものの、県、市町村、独立行政法人等が減少し、全体で前年同月比▲3.8%と9か月ぶりの減少となった。	■公共投資動向[工事請負]【西日本建設業保証(株)】			
	請負金額	134,796百万円		▲3.8
9. 企業倒産動向 8月の倒産件数は前年同月比▲8.2%と2か月連続の減少、負債金額は同+57.9%と3か月ぶりの増加となった。	■企業倒産動向【(株)東京商工リサーチ福岡支社】			
	倒産件数	45件		▲8.2
	負債金額	5,405百万円		57.9

(注)・「1. 生産動向」の指数は季調値、ただし前年比は原数値で比較。

・「4. 消費動向」中、消費支出・実収入の前年比は、算出にあたって消費者物価指数(総務省)により実質化。また、平均消費性向は前年差で表記

九 経 サ マ リ ー

— 最近の九州経済の動向について —

2020年10月12日
九州経済産業局

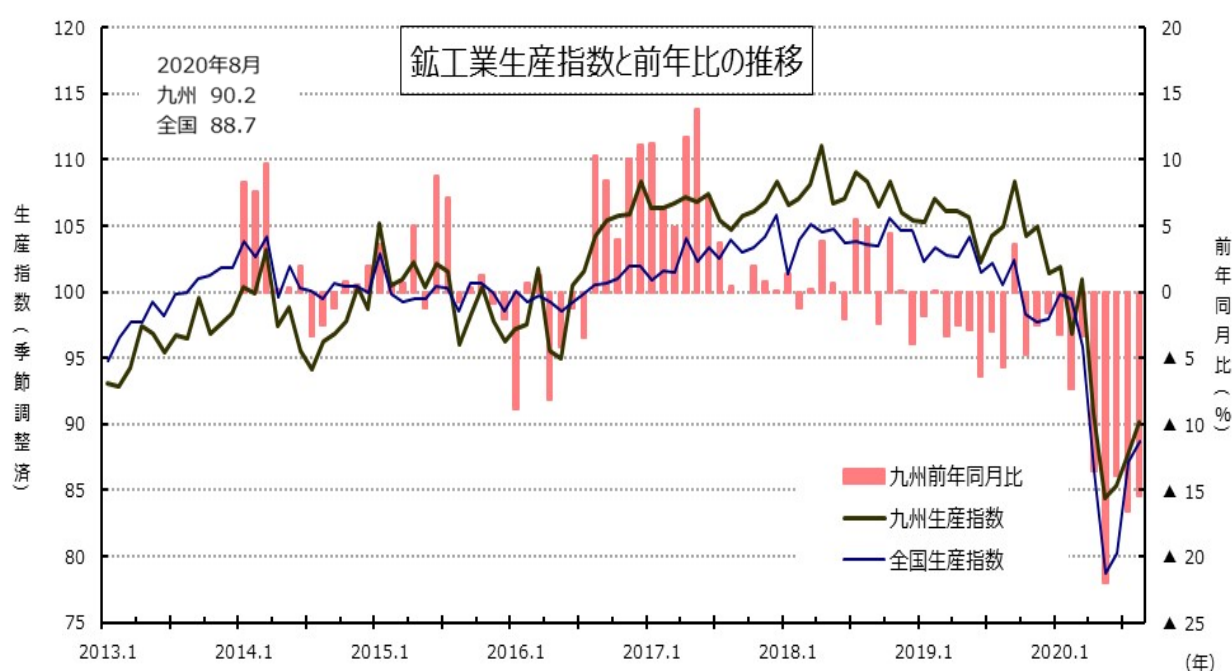
1. 生産動向

(1) 全体

2020年8月の鉱工業生産指数(季節調整済)は90.2となり、前月比が+2.9%と3か月連続の上昇、前年同月比は▲15.4%と11か月連続の低下となった。

	九州				全国			
	季節調整済指数		原指数		季節調整済指数		原指数	
	前月比 %		前年同月比 %		前月比 %		前年同月比 %	
生産	90.2	2.9	83.4	▲ 15.4	88.7	1.7	80.5	▲ 13.3
出荷	90.0	6.4	82.0	▲ 14.5	87.6	2.1	80.1	▲ 13.8
在庫	102.8	▲ 3.2	103.8	▲ 2.4	97.9	▲ 1.4	99.8	▲ 6.0
在庫率	134.6	▲ 6.5	141.3	16.4	122.5	▲ 2.5	132.5	12.3

▲印は低下を示す。(2015年=100)

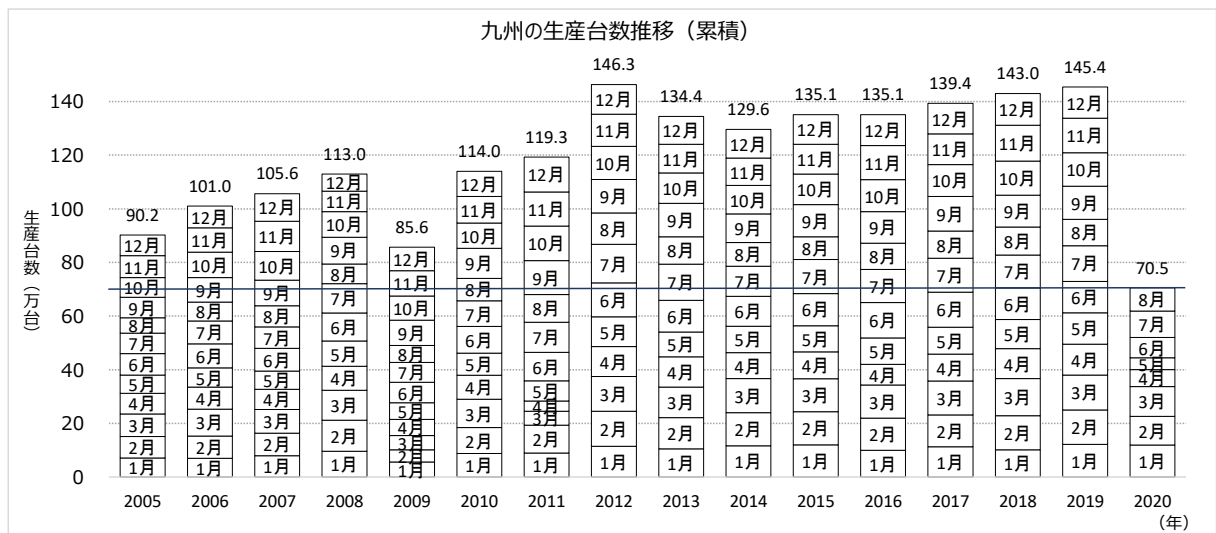


【生産】 前月比 2.9 % 3か月連続上昇 (全13業種中 上昇 10業種、低下 3業種、横ばい 0業種)

	主な上昇・低下業種/ウェイト	前年 同月比	前月比		主な上昇・低下品目
			前月	今月	
上昇	輸送機械工業	1,351.7	▲ 15.2	22.8	13.5 普通乗用車、シャーシ・車体部品 等
	バルブ・紙・紙加工品工業	190.1	▲ 12.4	▲ 6.6	34.3 製紙バルブ、紙 等
	窯業・土石製品工業	439.4	▲ 0.3	▲ 0.3	6.0 セメント、ファインセラミックス（一般構造物） 等
	鉄鋼・非鉄金属工業	770.7	▲ 3.4	10.4	4.1 非鉄金属地金、普通鋼鋼材 等
低下	汎用・生産用・業務用機械工業	1,216.8	▲ 30.2	▲ 19.4	▲ 5.2 半導体製造装置、金型 等
	電子部品・デバイス工業	1,359.4	▲ 17.3	2.9	▲ 2.3 半導体集積回路（CCD・その他）、トランジスタ 等

(2) 四輪自動車生産動向

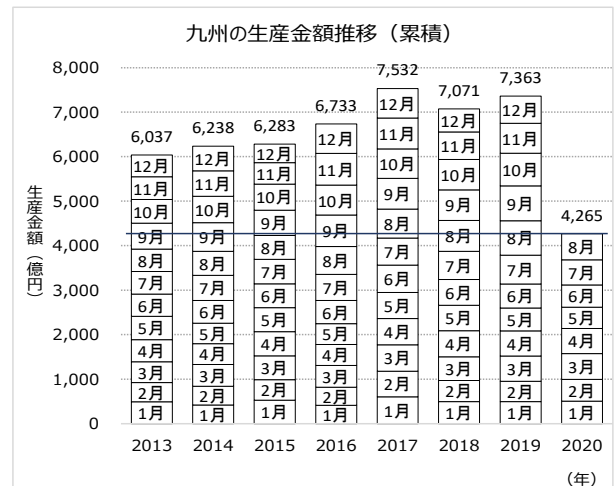
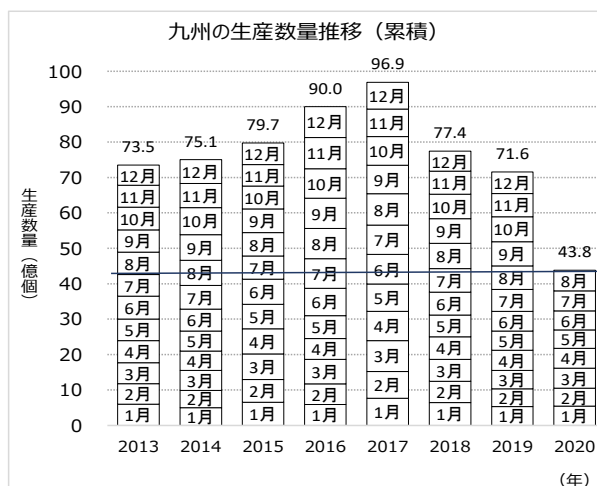
生産台数は 86,386 台と、前月比▲12.3%、前年同月比▲12.3%となった。



(3) IC生産動向

生産は、数量で 5 億 8,409 万個と、前月比+4.2%、前年同月比▲12.4%となった。

金額で 581 億 7,700 万円と、前月比+2.4%、前年同月比▲25.2%となった。



2. 設備投資動向

設備投資額(含む土地投資額)(九州・沖縄) (前年度比、%)

	19年度		20年度	
		修正率	(計画)	修正率
製造業	21.3	-	0.8	▲ 10.3
非製造業 (除 電気・ガス)	▲ 4.8	-	▲ 17.3	▲ 4.4
全産業 (除 電気・ガス)	10.0	-	▲ 6.0	▲ 8.4
(参考)全国全産業	▲ 0.6	-	▲ 2.7	▲ 1.9

(注1)ソフトウェア投資額・研究開発投資額は含まない。

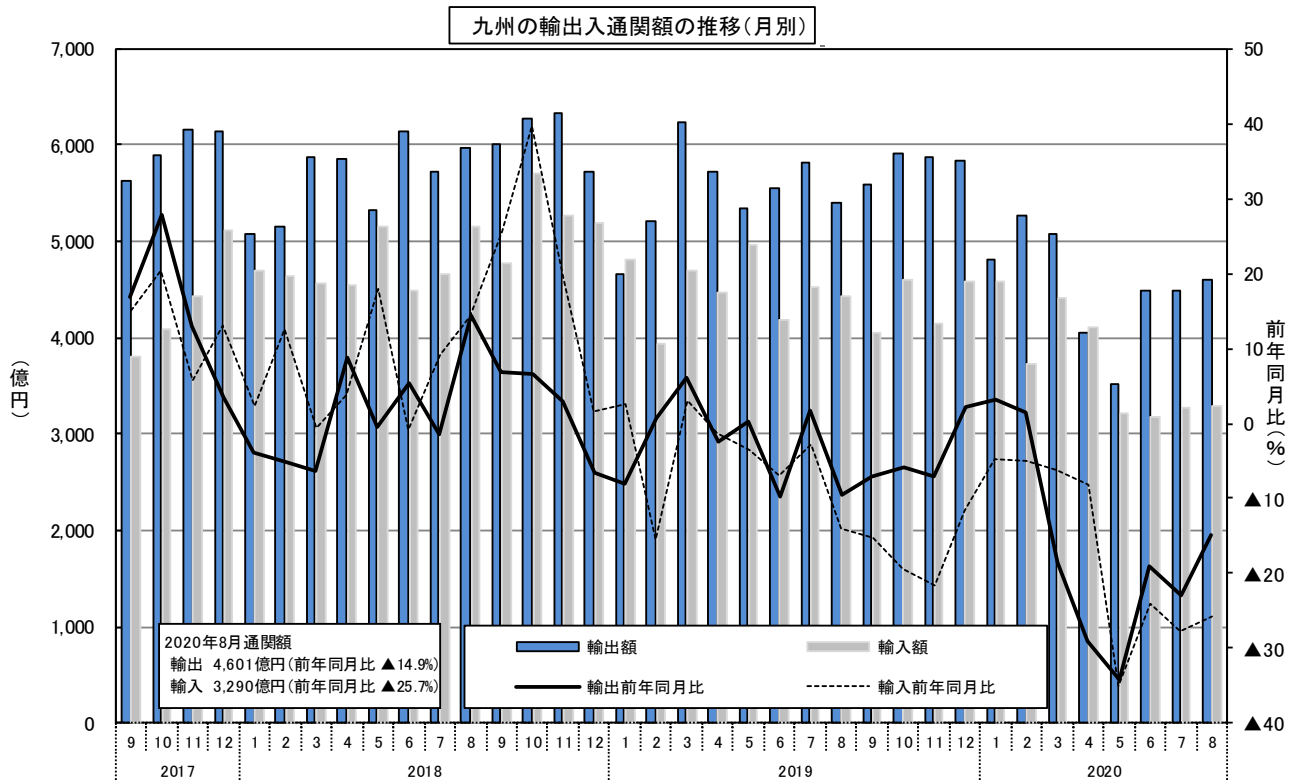
(注2)修正率(%)は前回調査との対比。

出所: 日本銀行福岡支店 九州・沖縄「企業短期経済観測調査」9月

3. 貿易動向

8月		金額		前年同月比	全国シェア
輸出	九州	4,601億円	▲ 14.9%	6か月連続の減少	8.8%
	全国	5兆2,331億円	▲ 14.8%	21か月連続の減少	-
輸入	九州	3,290億円	▲ 25.7%	17か月連続の減少	6.6%
	全国	4兆9,845億円	▲ 20.8%	16か月連続の減少	-
貿易収支	九州	+1,311億円	-	4か月連続の貿易黒字	-
	全国	+2,486億円	-	2か月連続の貿易黒字	-

		2018年	2019年	2019年	2020年	2020年	2020年	2020年	2020年	2020年	2020年
				7~9	10~12	1~3	4~6	5月	6月	7月	8月
輸出通関額(円)	九州	1.6	▲ 3.3	▲ 5.0	▲ 3.8	▲ 5.8	▲ 27.4	▲ 34.1	▲ 19.0	▲ 23.0	R ▲ 14.9
	前年比:% 全国	4.1	▲ 5.6	▲ 5.0	▲ 7.8	▲ 5.5	▲ 25.3	▲ 28.3	▲ 26.2	▲ 19.2	R ▲ 14.8
輸入通関額(円)	九州	11.5	▲ 9.3	▲ 10.9	▲ 17.6	▲ 5.2	▲ 22.9	▲ 35.2	▲ 24.0	R ▲ 27.8	P ▲ 25.7
	前年比:% 全国	9.7	▲ 5.0	▲ 4.9	▲ 11.9	▲ 7.2	▲ 16.0	▲ 26.1	▲ 14.4	R ▲ 22.3	P ▲ 20.8
対アジア	輸出	4.8	▲ 0.8	▲ 4.9	▲ 3.2	▲ 5.4	▲ 17.1	▲ 18.2	▲ 13.0	▲ 1.8	R ▲ 0.4
	前年比:% 輸入	4.7	▲ 6.7	▲ 5.2	▲ 12.7	▲ 10.1	▲ 14.5	▲ 20.1	▲ 17.6	R ▲ 20.7	P ▲ 17.8
為替レート(¥/\$) (期中平均)		110.39	109.01	107.30	108.72	108.86	107.60	107.31	107.56	106.78	106.04
原油輸入価格 (CIFベース\$/B)		72.78	66.79	66.36	65.85	67.50	32.28	24.96	24.55	R 32.78	P 43.42



輸出	品目	金額(億円)	前年同月比		寄与度	主要国等の動き ※()内は前年同月比
増加	半導体等製造装置	361	+ 94.7%	3か月連続	+3.2%	中国(+33.3%)、韓国(+478.6%)、台湾(+21.4%)、アメリカ(+55.0%)、中東(+39.3%)等が増加。ASEAN(▲44.2%)等が減少。
減少	半導体等電子部品	718	▲ 25.6%	6か月連続	▲4.6%	中国(+17.2%)、中東(+210.4%)等が増加。香港(▲40.4%)、ASEAN(▲13.0%)、韓国(▲15.4%)、台湾(▲19.2%)、EU(▲12.4%)、アメリカ(▲97.0%)等が減少。
減少	船舶類	122	▲ 66.5%	2か月連続	▲4.5%	ASEAN(▲68.3%)、韓国(▲97.4%)、EU(▲100.0%)等が減少。
減少	自動車	994	▲ 19.0%	6か月連続	▲4.3%	中国(+23.5%)、香港(+75.8%)等が増加。アメリカ(▲5.3%)、中東(▲85.1%)、台湾(▲17.1%)、韓国(▲48.8%)、ASEAN(▲17.9%)、EU(▲96.9%)等が減少。
減少	ゴムタイヤ及びチューブ	141	▲ 27.1%	11か月連続	▲1.0%	台湾(+22.4%)等が増加。アメリカ(▲34.3%)、中東(▲46.8%)、EU(▲38.3%)、ASEAN(▲45.1%)、中国(▲27.7%)、韓国(▲46.1%)、香港(▲68.7%)等が減少。
減少	有機化合物	139	▲ 25.1%	6か月連続	▲0.9%	EU(+9.0%)、台湾(+24.3%)、アメリカ(+93.8%)等が増加。韓国(▲8.6%)、中国(▲58.5%)、ASEAN(▲9.9%)、中東(▲58.6%)、香港(▲43.1%)等が減少。
減少	鉄鋼のフラットロール製品	312	▲ 9.6%	4か月連続	▲0.6%	ASEAN(+1.6%)、中国(+64.3%)、韓国(+2.7%)、中東(+1.0%)、香港(+126.2%)等が増加。台湾(▲19.6%)、アメリカ(▲43.5%)、EU(▲92.5%)等が減少。

輸入	品目	金額(億円)	前年同月比		寄与度	数量	前年同月比	
減少	原油及び粗油	560	▲ 41.9%	6か月連続	▲9.1%	1,887千KL	▲ 11.5%	4か月連続
減少	液化天然ガス	77	▲ 44.5%	3か月ぶり	▲1.4%	2,511百MT	+ 9.5%	3か月連続

輸出	国 別	金額(億円)	前年同月比		寄与度	主要国等の動き ※()内は前年同月比
増加	中華人民共和国	1,441	+ 25.8%	4か月連続	+5.5%	自動車(+23.5%)、半導体等製造装置(+33.3%)、鉄鋼のフラットロール製品(+64.3%)、半導体等電子部品(+17.2%)等が増加。有機化合物(▲58.5%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲27.7%)等が減少。
増加	大韓民国	673	+ 12.0%	6か月ぶり	+1.3%	半導体等製造装置(+478.6%)、鉄鋼のフラットロール製品(+2.7%)等が増加。半導体等電子部品(▲15.4%)、有機化合物(▲8.6%)、自動車(▲48.8%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲46.1%)、船舶類(▲97.4%)等が減少。
増加	台湾	271	+ 9.9%	10か月連続	+0.5%	半導体等製造装置(+21.4%)、有機化合物(+24.3%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+22.4%)等が増加。自動車(▲17.1%)、半導体等電子部品(▲19.2%)、鉄鋼のフラットロール製品(▲19.6%)等が減少。
減少	中東	88	▲ 74.9%	4か月連続	▲4.9%	鉄鋼のフラットロール製品(+1.0%)、半導体等製造装置(+39.3%)、半導体等電子部品(+210.4%)等が増加。自動車(▲85.1%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲46.8%)、有機化合物(▲58.6%)等が減少。
減少	香港	317	▲ 36.6%	7か月連続	▲3.4%	自動車(+75.8%)、鉄鋼のフラットロール製品(+126.2%)等が増加。半導体等電子部品(▲40.4%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲68.7%)、有機化合物(▲43.1%)等が減少。
減少	アメリカ合衆国	465	▲ 26.3%	13か月連続	▲3.1%	有機化合物(+93.8%)、半導体等製造装置(+55.0%)等が増加。自動車(▲5.3%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲34.3%)、鉄鋼のフラットロール製品(▲43.5%)、半導体等電子部品(▲97.0%)等が減少。
減少	ASEAN	655	▲ 19.2%	6か月連続	▲2.9%	鉄鋼のフラットロール製品(+1.6%)等が増加。半導体等電子部品(▲13.0%)、船舶類(▲68.3%)、自動車(▲17.9%)、有機化合物(▲9.9%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲45.1%)、半導体等製造装置(▲44.2%)等が減少。
減少	EU	194	▲ 42.0%	5か月連続	▲2.6%	有機化合物(+9.0%)等が増加。半導体等電子部品(▲12.4%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲38.3%)、鉄鋼のフラットロール製品(▲92.5%)、自動車(▲96.9%)、船舶類(▲100.0%)等が減少。

輸入	国 別	金額(億円)	前年同月比		寄与度
増加	ペルー	88	+ 45.6%	2か月ぶり	+0.6%
減少	中東	538	▲ 35.0%	4か月連続	▲6.6%
減少	オーストラリア	261	▲ 45.7%	2か月ぶり	▲5.0%
減少	アメリカ合衆国	310	▲ 33.5%	5か月連続	▲3.5%
減少	中華人民共和国	653	▲ 18.8%	4か月連続	▲3.4%
減少	ロシア	44	▲ 75.8%	6か月連続	▲3.1%
減少	ASEAN	518	▲ 17.6%	7か月連続	▲2.5%
減少	EU	71	▲ 43.7%	8か月連続	▲1.2%
減少	大韓民国	151	▲ 19.3%	14か月連続	▲0.8%
減少	ナイジェリア	0	▲ 62.8%	2か月連続	▲0.0%

4. 消費動向

(1)百貨店・スーパー

(単位：百万円、%)

	合 計			百貨店		スーパー			
	販売額	前年同月比 全店 (既存店)		販売額	前年同月比 全店 (既存店)		販売額	前年同月比 全店 (既存店)	
全 国	1,688,101	▲ 1.2	(▲ 3.2)	360,198	▲ 21.3	(▲ 20.0)	1,327,903	5.6	(3.7)
九州計	129,372	▲ 3.8	(▲ 6.9)	28,437	▲ 20.4	(▲ 20.4)	100,935	1.6	(▲ 1.6)
衣料品	20,683	▲ 20.1	(▲ 20.5)	11,961	▲ 19.7	(▲ 19.7)	8,722	▲ 21.0	(▲ 21.7)
飲食料品	72,420	2.7	(0.1)	7,508	▲ 20.1	(▲ 20.1)	64,912	5.9	(3.5)
その他	36,268	▲ 5.5	(▲ 10.7)	8,968	▲ 21.7	(▲ 21.7)	27,301	1.2	(▲ 5.0)

【注】九州計の数値は沖縄を含む。

	品 目	寄与度 (全店)	主 な 動 き (全店)	前年同月比(%)	
				全店	既存店
百貨店	九州計	▲ 20.4	感染症の影響などにより全体的に不調で、11か月連続で前年を下回った。	▲ 20.4	▲ 20.4
	衣料品	▲ 8.2	一般的に動きが鈍く、11か月連続で前年を下回った。	▲ 19.7	▲ 19.7
	飲食料品	▲ 5.3	一般的に動きが鈍く、21か月連続で前年を下回った。	▲ 20.1	▲ 20.1
	その他	▲ 6.9	一般的に動きが鈍く、11か月連続で前年を下回った。	▲ 21.7	▲ 21.7
スーパー	九州計	1.6	衣料品が不調だったものの、飲食料品や衛生用品等の動きが良かったことなどから、4か月連続で前年を上回った。	1.6	▲ 1.6
	衣料品	▲ 2.5	外出自粛による需要の低下により、夏物商品等の動きが鈍かったことなどから、11か月連続で前年を下回った。	▲ 21.0	▲ 21.7
	飲食料品	3.7	総菜や加工食品の動きが鈍かったものの、生鮮食品等が好調だったことなどから、10か月連続で前年を上回った。	5.9	3.5
	その他	0.3	化粧品等の動きが鈍かったものの、衛生用品等が好調だったことから、4か月連続で前年を上回った。	1.2	▲ 5.0

(2)コンビニエンスストア、専門量販店

(単位：百万円、店、%)

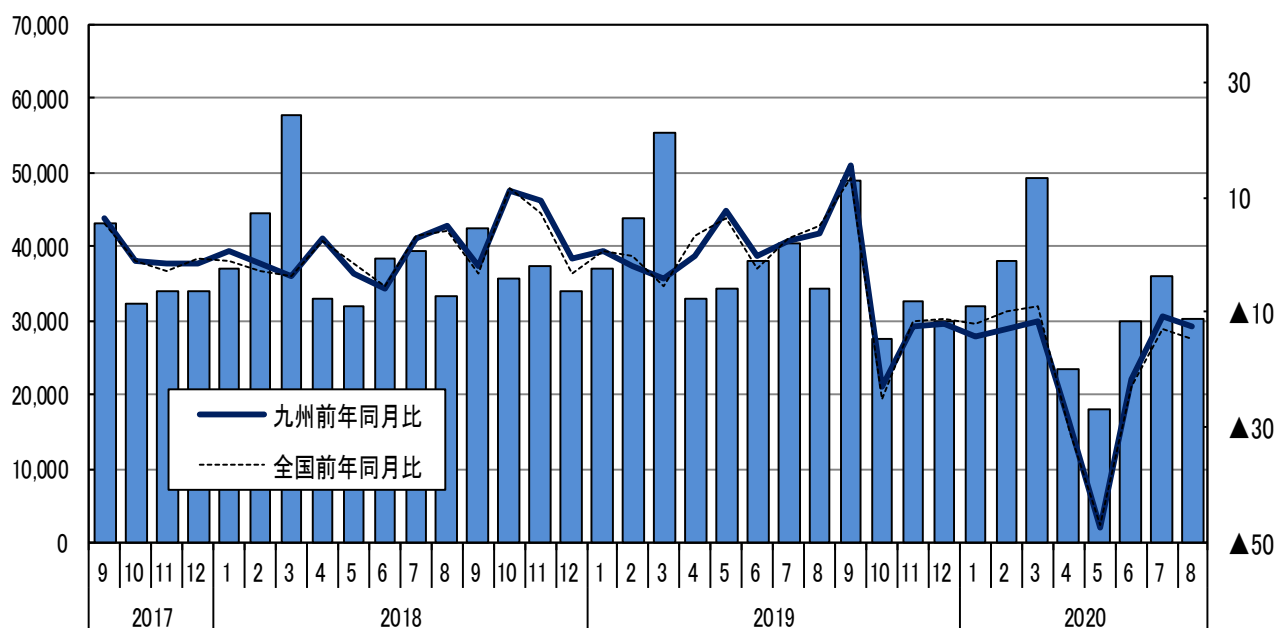
	九 州				全 国			
	販売額	前年比	店舗数	前年比	販売額	前年比	店舗数	前年比
コンビニエンスストア	101,555	▲ 4.3	5,600	▲ 0.4	1,034,075	▲ 5.6	56,445	▲ 0.4
全国比	9.8	—	9.9	—	—	—	—	—
家電大型専門店	35,591	14.1	304	2.7	452,290	9.5	2,563	1.6
全国比	7.9	—	11.9	—	—	—	—	—
ドラッグストア	64,397	11.4	1,534	1.4	641,655	9.1	16,732	3.6
全国比	10.0	—	9.2	—	—	—	—	—
ホームセンター	33,762	—	538	—	322,196	12.4	4,389	0.9
全国比	10.5	—	12.3	—	—	—	—	—

(3) 乗用車新車登録・届出台数動向

8月	九州			全国		
	台数(台)	前年同月比		台数(台)	前年同月比	
全体	30,189台	▲ 12.4%	11か月連続	270,209台	▲ 14.8%	11か月連続
普通	8,680台	▲ 17.1%	11か月連続	91,735台	▲ 19.7%	11か月連続
小型	8,225台	▲ 13.6%	11か月連続	77,465台	▲ 11.4%	11か月連続
軽	13,284台	▲ 8.3%	2か月ぶり	101,009台	▲ 12.4%	2か月ぶり

		2018年	2019年	2019年	2020年	2020年	2020年	2020年	2020年	2020年	2020年
				7~9	10~12	1~3	4~6	5月	6月	7月	8月
九州	全体	0.8	▲ 1.9	7.7	▲ 15.7	▲ 12.6	▲ 32.2	▲ 47.2	▲ 21.5	▲ 10.7	▲ 12.4
	普通乗用車	3.2	1.6	13.8	▲ 14.4	▲ 17.3	▲ 38.2	▲ 52.3	▲ 28.3	▲ 21.5	▲ 17.1
	小型乗用車	▲ 4.6	▲ 6.1	4.0	▲ 19.4	▲ 5.7	▲ 21.3	▲ 29.2	▲ 21.3	▲ 17.4	▲ 13.6
	軽自動車	3.0	▲ 1.6	5.8	▲ 14.1	▲ 13.6	▲ 34.8	▲ 54.5	▲ 16.1	3.7	▲ 8.3
全国	全体	0.1	▲ 2.0	7.4	▲ 16.0	▲ 10.1	▲ 32.9	▲ 46.7	▲ 22.7	▲ 12.8	▲ 14.8
	普通乗用車	2.1	0.2	11.1	▲ 15.8	▲ 15.0	▲ 38.7	▲ 50.0	▲ 29.8	▲ 21.5	▲ 19.7
	小型乗用車	▲ 5.8	▲ 5.9	2.0	▲ 19.0	▲ 5.2	▲ 23.2	▲ 31.3	▲ 22.7	▲ 17.3	▲ 11.4
	軽自動車	3.6	▲ 1.1	8.3	▲ 13.5	▲ 9.0	▲ 35.0	▲ 55.9	▲ 14.4	1.7	▲ 12.4

台 乗用車新車登録・届出台数の推移[月別] (軽自動車含む) 前年同月比 (%)



出所: 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

(4) 家計調査動向

(二人以上の世帯)

7月	名 目		実質/前年同月比	
	消費支出	九州	25万6,497円	▲ 7.8%
	全国	26万6,897円	▲ 7.6%	10か月連続

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

7月	名 目		実質/前年同月比	
	実収入	九州	56万9,947円	+ 0.8%
	全国	68万5,717円	+ 9.2%	7か月連続

出所:総務省「家計調査報告」

(5) 賃 金 (現金給与総額)

6月 九州	現金給与総額	前年同月比		残業時間	前年同月比	
全産業	36万6,666円	+ 0.2%	3か月ぶり	8.1時間	▲ 16.5%	9か月連続
製造業	41万4,960円	▲ 2.3%	3か月連続	10.1時間	▲ 29.7%	23か月連続

5人以上規模・全国製造業入り

毎月勤労統計		2018年	2019年	2019年		2020年		2020年			
				7~9	10~12	1~3	4~6	4月	5月	6月	7月
九州	全産業	▲ 0.9	▲ 1.7	▲ 1.2	▲ 1.6	0.6	▲ 1.1	▲ 0.4	▲ 3.7	0.2	-
	製造業	2.0	▲ 3.6	▲ 3.4	▲ 3.0	0.4	▲ 2.4	▲ 1.7	▲ 3.7	▲ 2.3	-
全国	全産業	1.4	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 0.1	0.6	▲ 1.7	▲ 0.7	▲ 2.3	▲ 2.0	▲ 1.5
	製造業	1.8	▲ 0.3	▲ 0.5	▲ 0.7	▲ 0.9	▲ 4.6	▲ 2.3	▲ 4.5	▲ 5.9	▲ 4.9

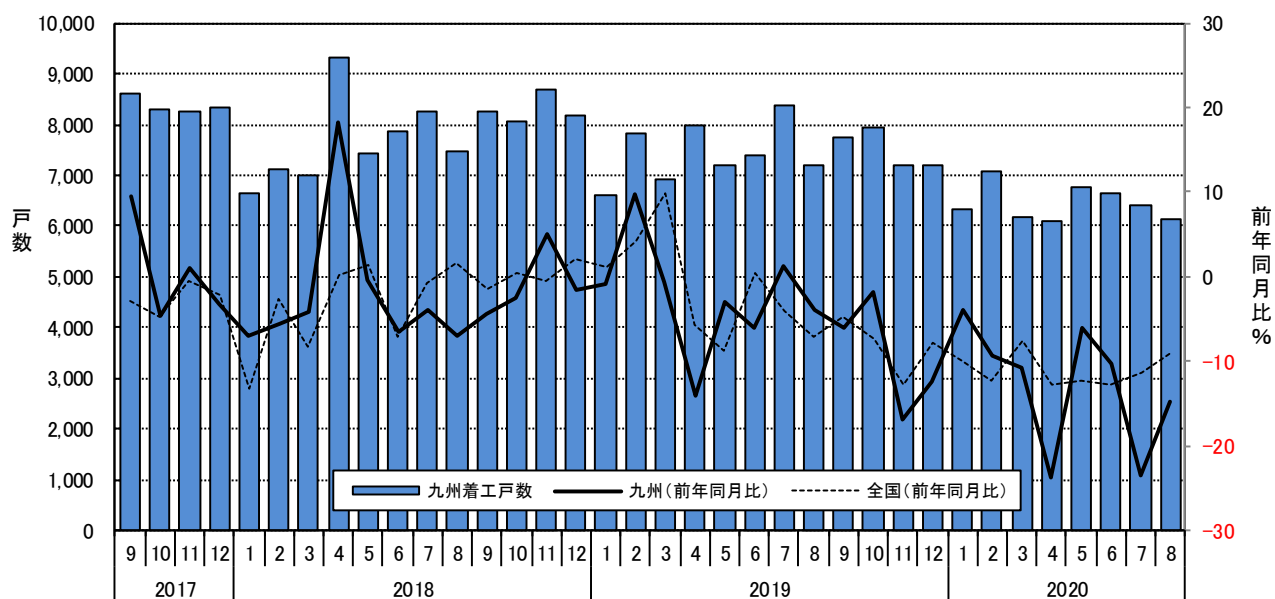
出所:九州各県、厚生労働省「毎月勤労統計調査」

5. 住宅建設動向

8月				
九州	戸数(戸)	前年同月比(%)		
総数	6,126戸	▲ 14.7%	13か月連続	
持家	2,424戸	▲ 6.7%	13か月連続	
貸家	2,754戸	▲ 10.4%	2か月連続	
分譲	924戸	▲ 36.5%	3か月連続	
全国	戸数(戸)	前年同月比(%)		
総数	69,101戸	▲ 9.1%	14か月連続	
持家	21,915戸	▲ 8.8%	13か月連続	
貸家	27,671戸	▲ 5.4%	24か月連続	
分譲	18,933戸	▲ 15.9%	10か月連続	

項目		2018年	2019年	2019年	2020年	2020年	2020年	2020年	2020年	2020年	2020年
				7~9	10~12	1~3	4~6	5月	6月	7月	8月
新設住宅着工戸数	九州	▲ 1.7	▲ 5.0	▲ 2.9	▲ 10.5	▲ 8.1	▲ 13.7	▲ 6.0	▲ 10.3	▲ 23.5	▲ 14.7
	全国	▲ 2.3	▲ 4.0	▲ 5.4	▲ 9.4	▲ 9.9	▲ 12.7	▲ 12.3	▲ 12.8	▲ 11.4	▲ 9.1
持家	九州	▲ 1.2	▲ 1.2	▲ 3.8	▲ 10.8	▲ 9.5	▲ 22.8	▲ 18.2	▲ 26.9	▲ 18.9	▲ 6.7
	全国	▲ 0.4	1.9	▲ 0.6	▲ 7.2	▲ 8.3	▲ 18.2	▲ 20.7	▲ 16.7	▲ 13.6	▲ 8.8
貸家	九州	▲ 7.2	▲ 11.5	▲ 13.9	▲ 17.0	▲ 11.9	▲ 4.5	▲ 1.1	12.8	▲ 21.1	▲ 10.4
	全国	▲ 5.5	▲ 13.7	▲ 16.5	▲ 15.0	▲ 9.6	▲ 12.3	▲ 8.1	▲ 13.0	▲ 8.9	▲ 5.4
分譲住宅	九州	13.3	2.9	29.7	4.8	1.6	▲ 7.9	13.9	▲ 10.3	▲ 33.2	▲ 36.5
	全国	0.0	4.9	8.2	▲ 3.1	▲ 11.8	▲ 6.2	▲ 7.6	▲ 7.7	▲ 11.8	▲ 15.9

住宅着工戸数の推移(月別)



出所: 国土交通省「建築着工統計調査」

6. 物価動向

8月	九州	消費者物価指数	前月比		前年同月比	
	総合	102.9	+ 0.3%	2か月連続	+ 0.4%	18か月連続
8月	全国	消費者物価指数	前月比		前年同月比	
	総合	102.0	+ 0.2%	2か月連続	+ 0.2%	47か月連続

8月	全国	企業物価指数	前月比		前年同月比	
	国内企業物価指数	100.4	+ 0.2%	3か月連続	▲ 0.5%	6か月連続
	輸出物価指数(円ベース)	90.0	+ 0.4%	3か月連続	▲ 1.5%	16か月連続
	輸入物価指数(円ベース)	82.5	+ 1.2%	3か月連続	▲ 10.9%	16か月連続

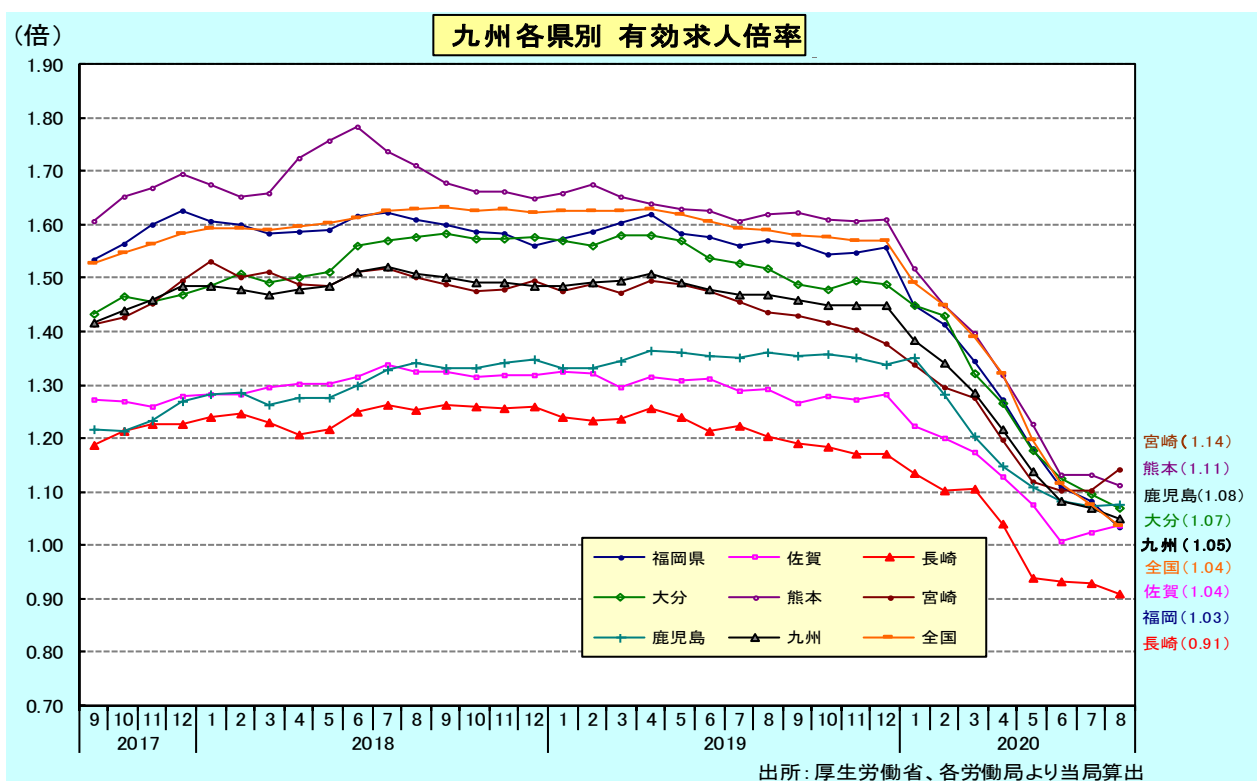
出所:総務省「消費者物価指数」(平成27年基準)、日本銀行「企業物価指数」(平成27年基準)

7. 雇用動向

項目		2018年	2019年	2019年	2020年	2020年	2020年	2020年	2020年	2020年	2020年
				7~9	10~12	1~3	4~6	5月	6月	7月	8月
有効求人倍率	九州	1.49	1.47	1.47	1.45	1.34	1.14	1.14	1.08	1.07	1.05
	全国	1.61	1.60	1.59	1.57	1.44	1.21	1.20	1.11	1.08	1.04
新規求人倍率	九州	2.12	2.15	2.12	2.14	1.93	1.72	1.79	1.72	1.72	1.82
	全国	2.39	2.42	2.38	2.42	2.17	1.81	1.88	1.72	1.72	1.82

(注1)月次と求人倍率の四半期は季節調整済値による

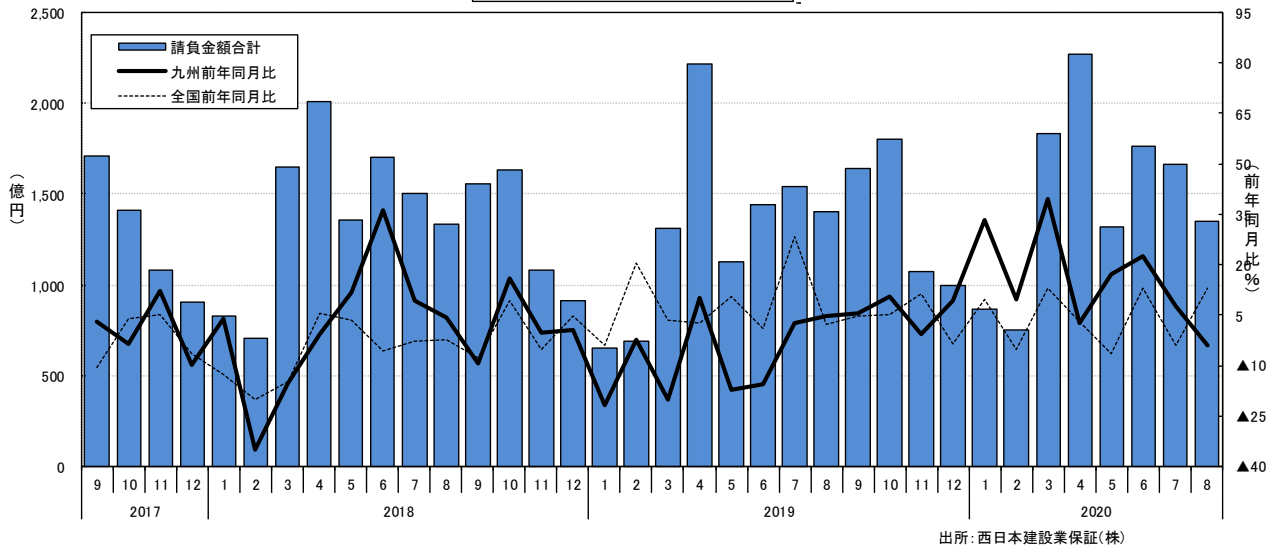
出所:厚生労働省、各労働局資料より当局算出



8. 公共投資動向

8月	請負額	前年同月比		前年同月比				
				国	独立行政法人	県	市町村	その他
九州	1,348億円	▲ 3.8%	9か月ぶり	+ 13.0%	▲ 27.2%	▲ 1.6%	▲ 3.7%	▲ 44.0%
全国	13,009億円	+ 13.2%	2か月ぶり	+ 36.4%	+131.4%	+ 9.0%	▲ 6.5%	▲ 15.2%

公共工事保証実績の推移(月別)

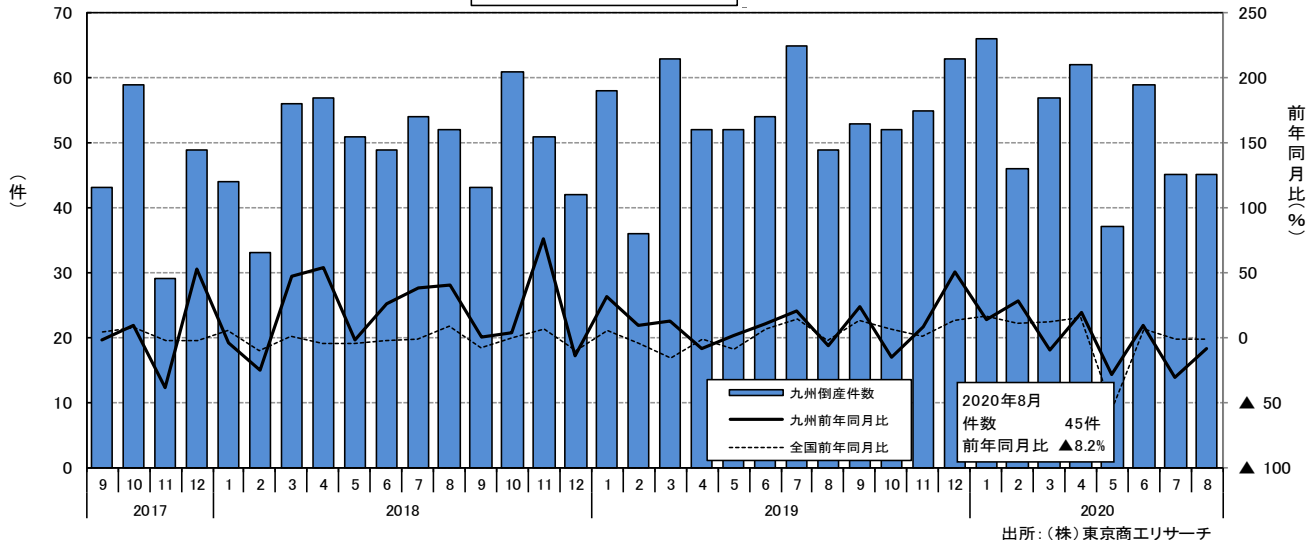


9. 企業倒産動向

8月		前年同月比		
倒産件数	九州	45件	▲ 8.2%	2か月連続
	全国	667件	▲ 1.6%	2か月連続
負債総額	九州	54.1億円	+ 57.9%	3か月ぶり
	全国	724.2億円	▲ 16.9%	3か月ぶり

8月 業種別		前年同月比		
倒産件数	製造	1件	▲ 50.0%	5か月ぶり
	卸・小売	13件	▲ 35.0%	5か月連続
	建設	9件	▲ 10.0%	2か月連続
	その他	22件	+ 29.4%	2か月ぶり

倒産件数の推移(月別)



(参考)業況判断

(1) 日本銀行「企業短期経済観測調査」

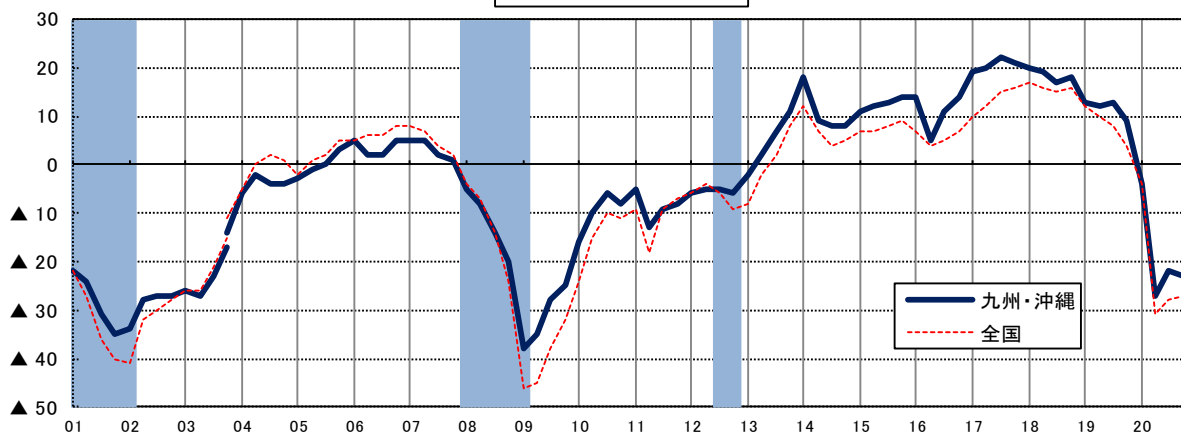
日銀短観(9月調査)によると、九州・沖縄の業況判断DIは、製造業DIは▲29(前回調査比+2ポイント)、非製造業は▲19(同+5ポイント)、全産業で▲22(同+5ポイント)と改善した。次回予測(20年12月)の数値は、製造業は▲25(9月比+4ポイント)、非製造業は▲22(同▲3ポイント)、全産業で▲23(同▲1ポイント)と予測。

(先行き)

業況判断DI		2018年			2019年				2020年			
		6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月
全産業	九州・沖縄	19	17	18	13	12	13	9	▲4	▲27	▲22	▲23
	全国	16	15	16	12	10	8	4	▲4	▲31	▲28	▲27
製造業	九州・沖縄	20	15	13	5	5	2	▲2	▲5	▲31	▲29	▲25
	全国	17	16	16	7	3	▲1	▲4	▲12	▲39	▲37	▲31
非製造業	九州・沖縄	18	18	20	17	17	18	14	▲4	▲24	▲19	▲22
	全国	15	14	15	15	14	14	11	▲25	▲21	▲24	

※調査対象企業見直しに伴い、27年3月調査以降は新ベースデータ。

業況判断DIの推移



(注) 網掛け部分は景気後退期

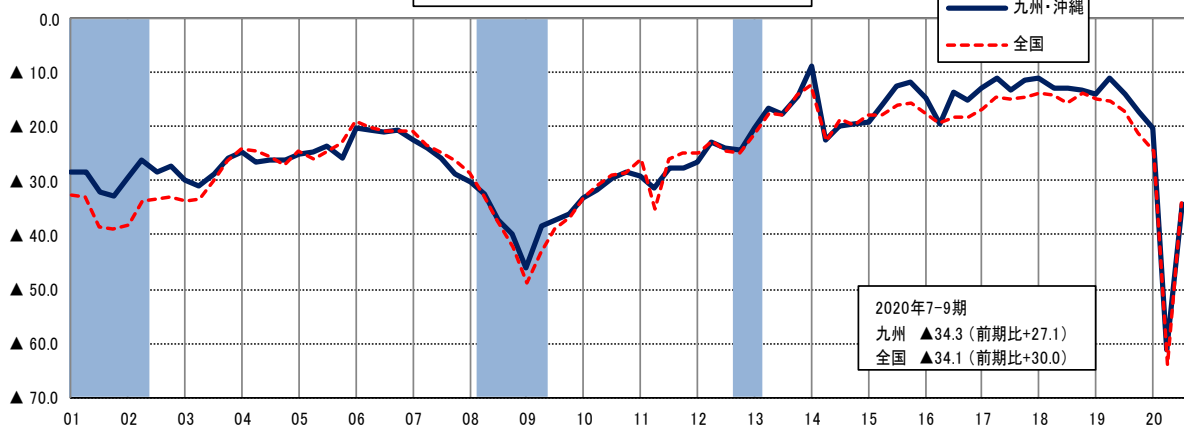
出所: 日本銀行福岡支店 九州・沖縄「企業短期経済観測調査」

(2) 中小企業庁「中小企業景況調査」

中小企業景況調査(2020年7-9月期)によると、九州・沖縄における中小企業の業況判断DI(前期比季調値)は全産業で▲34.3と前期から+27.1ポイントの上昇となった。

業況判断DI (前期比季調値)		2018年			2019年				2020年		
		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月
全産業	九州・沖縄	▲12.9	▲12.8	▲13.1	▲14.0	▲11.1	▲13.9	▲17.2	▲20.2	▲61.4	▲34.3
	全国	▲14.2	▲15.6	▲13.7	▲14.8	▲15.4	▲17.1	▲21.2	▲24.4	▲64.1	▲34.1
製造業	九州・沖縄	▲8.9	▲12.1	▲12.1	▲18.0	▲12.1	▲14.9	▲18.8	▲22.0	▲66.7	▲35.8
	全国	▲8.9	▲10.5	▲10.7	▲14.0	▲15.0	▲17.5	▲22.6	▲27.4	▲65.9	▲40.8
非製造業	九州・沖縄	▲13.9	▲12.9	▲13.4	▲13.1	▲10.6	▲13.4	▲16.5	▲20.0	▲59.9	▲33.9
	全国	▲16.0	▲17.2	▲14.7	▲15.0	▲15.6	▲16.9	▲20.6	▲23.5	▲63.5	▲32.1

中小企業の業況判断DI(前期比季調値)



(注) 網掛け部分は景気後退期

出所: 中小企業庁「中小企業景況調査」